

恵那市産業振興ビジョン検討部会ワークシート（林業部会）

分類	現状と課題	
	市の現状と課題の認識（マクロの視点）	委員の現状と課題の認識（ミクロの視点）
担い手（担う要素）	<ul style="list-style-type: none"> ●林業経営者、従業者が減少している。 ●小規模零細な経営体が多い。 ●若い林業経営者の増加。 ●林業をトータルでコーディネート出来る人材の育成。 ●施業面積の集約化が十分に進んでいない。 ●森林管理者、林業技術者の育成。 ●他業種に比べて林業は事故率が高く危険だというイメージが強い。 ●移住者は農林業への就業を好む傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手不足（全般） <ul style="list-style-type: none"> ・林業者が少ない。 ・売り上げがまばらでなかなか人が雇えない。 ・担い手と生産性の向上一連の流れの中での教育が必要。 ・人材育成（現場、プランナー）。 ・仕事へのやりがいの醸成。 ・林業以外で地域への参加により生きがいを見出すことで定着率が上がる。 ・住民と山とのつながりがほぼ無い。 ○担い手不足（小規模事業者） <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な担い手が活躍出来るように。 ・小規模、副業としてやる人への研修や支援が必要。
生産（生み出す要素）	<ul style="list-style-type: none"> ●路網密度が低く生産性が上がらない。 ●木材（素材）価格が安すぎる。 ●高い生産経費と低い素材価格により仕事が成り立たない。 ●高性能な林業機械は高くて手が出ない。 ●施業の集約化が進まず機械稼働率が上がらない。 ●安定した大規模な需要とそれに応える安定供給の体制が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性が低い <ul style="list-style-type: none"> ・機械化が不十分 ・レンタル機械への補助金が必要。 ・小型林業機械の貸し出しや研修。 ・車両系に限定しない搬出方法の選定。 ・森林所有者からの経営委託（所有者の意識改革）。 ○製材工場不足 <ul style="list-style-type: none"> ・製材工場が市内に1社しかない。 ○整備が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・間伐等への補助金の増額。 ・路網整備。
流通（稼ぐ要素）	<ul style="list-style-type: none"> ●流通が多段階で利益が分散してしまう。 ●大規模加工業者が近くにないため輸送コストがかかる。 ●合板や木質バイオマスなどの新たな需要が生まれてきている。 ●市内にバイオマス関連施設がない。 ●輸入材が値上がりしている。 ●他産業との連携が十分に出来ていない。 ●バイオマス発電が増加してチップの需要が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○木材需要の少ない <ul style="list-style-type: none"> ・木材需要の減少。 ・木造建築の減少。 ・市内業者への製材製品販売量が減少している。 ・建築材を買う市内業者が減少している。 ・建築時に木材にこだわらなくなっている。 ・地元企業（建築業）に元気が無い。 ・木材価格の下落、低迷。 ・市内での木材消費量を増やす。 ・東濃ヒノキのブランド強化。 ・消費者と生産者の情報共有マッチング。
森林環境（守る要素）	<ul style="list-style-type: none"> ●間伐適齢期または主伐適齢期に達している豊富な森林資源が有効利用出来ていない。 ●手入れがなされなくなった森林が増え災害の恐れがある。 ●切り捨て間伐による未利用材が森林に放置されている。 ●植林がなされていないため、将来森林資源が枯渇する恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林づくりが出来ていない <ul style="list-style-type: none"> ・森林の持つ公益機能が果たす役割、重要性の地域との合意形成。 ・恵那市の山のビジョン。 ・森林のエリア分け、多様な山。
製品化（高付加価値化）	<ul style="list-style-type: none"> ●市内には木材の加工業者が少ない。 ●現在のニーズに合った製品を開発する仕組みが無い。 ●恵那の森や木を十分にPR出来ていない。 ●稼働している製材所がないため、市内で製材が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○製品化が進まない <ul style="list-style-type: none"> ・建築用材（合板）以外の製品が少ない。 ・県産材のような形で恵那市産材に特化した事業は出来ないか。 ・恵那市の木材というのが見えにくい。